

「第3回希望を持てる新しい日向市座談会」概要(要約)

日時 令和7年1月16日(木)19:00~20:30

場所 中央公民館 第4研修室

座談会参加者 市民:11名

座談会記録

- 1 開会
- 2 前回座談会のふりかえり、定例市議会報告及びテーマ説明(市長)
 - 前回の意見交換の内容と対応状況を紹介
 - 11~12月の市政の動きと12月定例市議会について報告
 - 市公共施設等総合管理計画と人口ビジョンデータを活用しながら日向市の現状・将来像を示し、テーマ説明
- 3 意見交換 テーマ「持続可能な地域をつくるために」
 - 以下のカテゴリ別に意見を行った。

~参加者からのご提案・ご意見概要~

① 経済の安定

意見： 地方から国に対して積極財政を推進するよう強く訴えてほしい。地方交付税交付金をもっと増やしてもらおうよう、市長から国に対して強く言ってほしい。

→ **市長：** ネットやSNSの普及で国民の意識が変わってきている。市民の怒りや思いをしっかり伝えながら、国に対しても地方の税収や財源を求めていきたい。

② 人が集まりやすい街づくり

意見： 地方税減少と人口減少対策として東郷工業団地の整備着手を評価。地方で働きやすい環境づくりが必要。スポーツ施設や観光施設の充実を図り、生活道路の整備を進め、人が訪れやすいまち作りが大事。

→ **市長：** 日向市は50年以上前から企業誘致に取り組んでおり、細島工業団地を整備してきたが、企業の新陳代謝により次世代の働く場所が減少している。新たな産業を増やしていくような取り組みをしていきたい。

担当課補足： 市では、重要港湾・細島港を核とした産業の集積を進めてきており、積極的な企業誘致の効果もあって、現在、細島工業団地に利用可能な工業用地が不足している状況です。それらの課題の解消に向けて、東郷工業団地の整備に着手したところです。一方で、若者からのニーズの高いIT企業等の誘致については、マッチングイベントへの参加やモニターツアーの実施など、誘致に向けた施策を展開しているところです。IT企業が入居するテナントの不足などの課題もありますが、引き続き、誘致に向けた取り組みを強化していきたいと考えています。(商工港湾課)

③ 駅高架下の利活用などで賑わいづくり

意見：○ 日向にキラコンテナがない。日中に楽しめる場所が欲しい、駅前への活用やテナント誘致を進めてはどうか。駅高架下の空きスペースの活用など提案。

○ 日向をもっと盛り上げたいと考えているが、経済的な不安から踏み出せない人が多い。市民が頑張れるように、一歩踏み出せるまちの雰囲気欲しい。

→ 市長： 駅前や商店街の活用への良いアイデアをいただいた。他自治体の再生事例や政策を参考にしながら、チャレンジショップの支援や家賃補助などに本市でも取り組めないか考えていきたい。

担当課補足： 日向市駅周辺の交流拠点施設は、これまで、高架下スペースも含め、数々のイベントが開かれ、街なかの賑わいの一端を担っています。また、中心市街地では、一定の条件を整えば、空き店舗対策事業の一つとして家賃の補助制度を設けているところです。今後も、街なかの賑わい創出と活性化に向け、官民連携で取り組んでいきたいと考えています。(市街地整備課)

④ 賃金格差の解消

意見： 都会と比べて賃金が低い。賃金格差を解消してほしい。

→ 市長： 最低賃金は上がったが、企業継続が難しくなる問題もある。物価高騰や企業倒産が問題となる中、賃金を上げるバランスを考えながら、サービス提供に対して適切な料金を取ることが重要。地域内でお金が循環することが理想。

担当課補足： 賃上げに取り組む中小企業に対して、国や県による「専門家派遣・相談等支援事業」「業務改善支援金」などの施策がありますので、制度の周知を図り、活用を促していくことで、賃上げへの取組を支援していきたいと考えています。(商工港湾課)

⑤ 道路の改善

意見： 東郷工場誘致に伴い、瀧井病院付近の道路混雑を懸念。道路を広くしてほしい。

→ 市長： 国道327号では、現在塩見川方面の工事、県や国に要望しながら道路改良工事を進めている。改良工事には時間を要することにご理解をお願いしたい。

担当課補足： 国道327号永田工区のバイパス整備を県事業で進められていますが、早期完成や必要な予算確保等について、県や国に要望を行っているところです。本市としても、円滑な事業進捗や周辺道路等の安全対策について、調整、支援に努めていきます。(都市政策課)

⑥ 学校区の見直し

意見： たいえい橋完成以降の学校区に懸念。子育て世代のニーズも考慮してほしい。

→ 市長： 学校区については柔軟に対応することが重要。決定のスピードアップを図り、子どもたちや保護者の意見を反映させたい。

担当課補足： 学校区は住所地によって定められており、学校区を変更する際には、通学区域審議会において審議を行っておりますので、保護者や地域の総意として要望が出された際には、行政区との関係などに配慮しながら早急に検討に入ることになると考えています。(学校教育課)

⑦ 通学の利便性向上

意見： 市外の学校に通学する生徒への交通費補助や通学電車の増便を望む。

→ 市長： 日向高校の魅力向上に向けた取り組みを進めている。通学電車の利便性向上にはJR九州に要望を続けている。朝課外の見直しなども注視していきたい。

⑧ 公民館の利用拡充

意見： 公民館の利用に制約が多く、もっと自由に使えるようにしてほしい。多少使用料を払ってでもフリーに使えるスペースを増やしてほしい。

→ 市長： 公民館の商業利用を含めた幅広い柔軟な利用については、持ち帰らせていただく。

担当課補足： 公立公民館は、市民の皆さんが、学習・集会・レクリエーションを通じて实际生活に必要な知識・技術を習得したり、楽しみながら仲間作りを行い、明るく住みよい地域社会の形成や地域文化の振興に努めるなど、日常生活に最も身近な生涯学習のための施設となっています。今後も、公民館の利用には、皆さまのご意見を伺っていきます。(生涯学習課)

⑨ 景観賞の情報開示

意見： 景観賞の応募作品の評価や投票結果を情報開示してほしい。自分の作品がどのくらい評価されたのか知りたい。募集要項の参加資格も変えてほしい。

→ 市長： 担当課に確認させる。

担当課補足： 景観賞に応募いただきありがとうございました。ご自身の作品への投票数や評価についての情報開示については、個別に対応しますので、都市政策課までご相談ください。また、募集要項の参加資格については、次回開催する景観賞において審査委員等の意見を踏まえ、皆さんが平等に応募できるよう取り組んでいきます。(都市政策課)

⑩ 教育施設の充実

意見： Uターンして日向は住みやすいと感じている。進学先や就職先が少ないことが課題。ニーズに合った教育施設が欲しい。工業高校に建築学科や土木学科を設けて、若い人が建設業に興味を持ち、スキルを身につけることができるような教育施設があると良い。

→ 市長： 日向工業高校や富島高校の卒業生は即戦力として多くの求人があるが、建設業では2~3年で転職する人が多いという課題もある。高校時代に職業教育

を充実させることが重要。県教育委員会にも職業系高校の充実を要望していく。

担当課補足： 市では、日向ひどものづくりセンターが行う「技能まつり」の運営補助や、民間の指導者による施設を活用した溶接技術の指導を行っており、若い技術者の育成に地域で取り組んでいます。今後も、このような取組を支援し、地元への就職・定着に向けて取り組んでいきたいと考えています。(商工港湾課)

⑪ 若者のエネルギー発散場所

意見： 駅高架下などで中学生の非行問題が起き、関係者が対応している。スケートボードなどエネルギーの発散の受け皿に場所が必要。早急に対処してほしい。

→ 市長： サーフィンやスケートボードなどのアーバンスポーツは重要で、市でも安全に楽しめる方法を検討中。多額の費用を要するため、財源確保に課題があるが、次世代の子ども達が楽しめる遊び場はしっかり考えていきたい。

⑫ 公園の遊具への対応

意見： 山手町:竹の上公園の遊具の使用禁止が1年近く続いている。対応は。

→ 市長： 担当課に確認させる。

担当課補足： 竹の上公園の遊具については、補修による再利用について検討してきましたが、劣化状況等から困難と判断されたため、令和7年度予算により撤去します。(市街地整備課)

⑬ ふるさと納税のPR

意見： ○ ふるさと納税の伸びに今後も期待している。予算に認知度向上のためのPR枠を設けたようだが、その枠(額)が増える可能性はあるのか。

○ 日向坂46効果にあやかり「コラボ商品」を開発してはどうか。

→ 市長： ○ 日向市はまだPRにかけられるほど余裕がないが、今年度の日向坂効果も踏まえ、来年度もPRの機会を増やしたい。返礼品の工夫やルールの変更に対応しながら、地方への財源還流を進めるため、今後も努力したい。

○ 日向坂さんの起用には費用がかかる。去年はひなたフェスPRの目的があつての効果。機会があれば考えたい。

担当課補足： ふるさと日向市応援寄附金の受入額が増加することで、さまざまな事業が展開でき、その中でシティプロモーション等にも力を入れることが可能となります。(ふるさと物産振興課)

⑭ 細島保育所の建替え

意見： 細島保育所の老朽化が進んでいるが建替えの予定はないか。

→ 市長： 改修程度は計画しているが、建替えの予定はない。

担当課補足： 建替の予定はありませんが、令和7年度に屋根防水工事を計画しています。(こども課)

⑮ 海の駅周辺環境整備

意見： 細島の海の駅付近に広場や公園ができるなど聞く。どんな計画なのか。

→ 市長： 公園化は不明だが、岸壁から海が見えるようになるのではないかと。細島港商業港の一体的な計画は県の管理になる。賑わい創出を県にもお願いしていきたい。

担当課補足： 細島港商業地区においては、港湾管理者である宮崎県が平成 28 年の港湾計画の改訂で、憩いの空間形成としての親水緑地と港の歴史や文化を生かした賑わい・交流緑地を将来計画として位置付けています。現在、本地区においては港湾関連倉庫群が操業しており、緑地整備は大きく進んでいない状況ではありますが、平成 29 年には”みなとオアシス”の認定や”海の駅ほそしま”などの商業施設の開設等、賑わい創出に県とともに取り組んでいます。

また、昨今、旭化成(株)所有の倉庫が老朽化に伴う解体工事が実施されています。本施設の跡地については、港湾計画に沿って緑地化を計画していますが、施設詳細については、県を中心に検討を進めているところです。(商工港湾課)

⑯ 牧水公園の活用

意見： 牧水公園の牧水庵は、なぜ指定管理から外れているのか。ランチ営業だけでは厳しいのでは。自然学校などでの使い方も考えられる。

→ 市長： ご意見を参考に、指定管理の課題もしっかり考えていきたい。

担当課補足： 令和元年まで指定管理者の自主事業で週 4 日の飲食店営業を行っていましたが、利用者数が減少傾向にあり、民間のノウハウ活用のため、公募に至りました。牧水公園の近隣に飲食施設がないため、公園利用者のために飲食店を条件としています。併用の活用提案も可能です。過去にも体験アクティビティやイベント開催、コワーキングスペース利用の提案がなされていたものの、集客が難しい状況でした。現在、新規事業者を公募中。今後は、状況により活用の方法を検討していきます。(観光交流課)

⑰ 石並川キャンプ場の通年営業

意見： キャンプブームもあり、石並川キャンプ場を通年営業しては。シャワーを温水に。

→ 市長： ご意見参考に、しっかり考えていきたい。

→ 副市長： ゴールデンウィークあたりは可能と向うが、年間には事業者側も難しいとの見解。

担当課補足： 現在は7、8、9月の夏場に3ヶ月間営業しており、指定管理者とゴールデンウィークや秋の営業について協議中です。令和7年度に温水シャワーへの改修工事と条例改正を計画しています。(観光交流課)

.....
～その他、アンケートでいただいたご意見・ご提案を紹介します～

○ 日向市行政として、「持続可能な地域…」をどのように考えているのかが伝わってこない。他の自治体においてもすでに様々な取り組みがなされており、日向市は出遅れている感がある。この座談会にも「希望」の文字があるが、市民が希望を持てるような行政政策を市民に対して訴え、問うていくことが必要と考える。この座談会等の取り組み自体は評価できるが、座談会を活かした次の展開（市民の意識や行動変容、そのため行政の動き）が重要と考える。寄せられた意見や想いをどのように政策に反映させていくのか期待したい。地域社会を構成する一員として、市民に対する意識や行動に働きかけることが「持続可能…」には必要ではないかと考えます。

→担当課補足： 本座談会は市民の声を活かしたまちづくりの推進を目的に開催しており、参加者同士が意見を交わしやすいテーマを設けて取り組んだところです。このたびのご意見も参考にしながら、今後の座談会のあり方を検討していきます。（秘書広報課）

○ 出産に対しての支援であれば、産婦人科の経営を安定させ、出産前後の費用負担軽減や不妊治療に対しての費用・精神的負担を現行以上の補助金やサポート体制で支えていくことを実行していただきたい。

→担当課補足： 令和7年度から妊婦健康診査の自己負担をなくし、全額公費負担することとしています。また、妊娠期からの経済的、精神的不安を解消するため、給付金の支給や相談体制の充実を図っています。不妊治療については、令和5年度から保険適用となっており、現在は、不妊検査にかかる費用への助成を行っています。（こども課）

日向入郷圏域で唯一の産科・分娩施設を維持し、安心して子どもを産み育てることができる地域医療体制を確保するため、令和5年度から圏域自治体と連携して支援を行っています。（予算額 1,000 万円）（健康増進課）

○ 出産を見込める世代の流出を阻止し、移住を増やしていくには、宮崎県のお他市でも行われている0歳～2歳児までの保育料無償化は必須命題であり、その上で差別化を図るための若い世代をターゲットにした施設（隣市町村にはないもの、大型ショッピング施設、子どもが安心して遊べる屋内遊具場など）の建設や働きたいと思えるような就職先を増やし、生活の質の向上を図るべきである。

→担当課補足： 今年1月に策定した「第3向日向市総合計画」の重点戦略に、子育て支援の充実や若者にニーズの高い企業誘致などの取り組みを掲げ、事業を進めていくこととしています。また、屋内遊戯場の整備については、子育て世代のニーズに努めながら、今後検討していきたいと考えています。（総合政策課）